

連結納税の達人(平成25年度以降用)from会計王22シリーズ

運用ガイド

この度は、「連結納税の達人（平成25年度以降用）from会計王22シリーズ」をご利用いただき誠にありがとうございます。

「連結納税の達人（平成25年度以降用）from会計王22シリーズ」は、ソリマチ株式会社の「会計王」の会計データを「連結納税の達人〔個社処理用〕」に取り込むためのプログラムです。このマニュアルでは、「連結納税の達人（平成25年度以降用）from会計王22シリーズ」のインストール手順や操作手順について説明しています。



目次

1.対応製品	3
2.動作環境	4
3.インストール方法	5
1.「達人 Cube」からアップデートする場合	5
2.「達人」オフィシャルサイトからファイルをダウンロードする場合	9
4.運用方法	11
1.「会計王」と「連結納税の達人 [個社処理用]」を同一コンピュータにインストールしている場合	11
2.「会計王」と「連結納税の達人 [個社処理用]」を別のコンピュータにインストールしている場合	12
5.操作方法	13
「連結納税の達人 (平成 25 年度以降用) from 会計王 22 シリーズ」を使用する前に	13
1.「会計王」と「連結納税の達人 [個社処理用]」を同一コンピュータにインストールしている場合	16
2.「会計王」と「連結納税の達人 [個社処理用]」を別のコンピュータにインストールしている場合	21
6.連動対象項目	27
「会計王」から連動するデータ (連動元)	27
「連結納税の達人 [個社処理用]」に連動するデータ (連動先)	28
貸借対照表	30
損益計算書	31
製造原価報告書	32
株主資本等変動計算書等	33
個別注記表	35
7.アンインストール方法	36
8.著作権・免責等に関する注意事項	37

1.対応製品

「連結納税の達人（平成25年度以降用）from会計王22シリーズ」に対応するNTTデータの対応製品及びソリマチの対応製品は以下のとおりです。

会社名	対応製品
株式会社NTTデータ	連結納税の達人（令和04年度版）[個社処理用] Professional Edition
ソリマチ株式会社	会計王22
	会計王22PRO



注意

本書は、出版時点での最新プログラムの画像を使用しています。

2.動作環境

「連結納税の達人（平成25年度以降用）from会計王22シリーズ」に必要な動作環境は「1.対応製品」（P.3）に記載のソリマチ株式会社の〔対応製品〕と同様です。



注意

「連結納税の達人（平成25年度以降用）from会計王22シリーズ」のインストールやプログラムの起動を行うには、「1.対応製品」（P.3）に記載のソリマチ株式会社の〔対応製品〕のいずれかをインストールしている必要があります。

3.インストール方法

「連結納税の達人(平成25年度以降用)from会計王22シリーズ」をインストールする手順は、「達人Cube」からアップデートする方法と「達人」公式サイトからファイルをダウンロードする方法の2パターンあります。

1.「達人Cube」からアップデートする場合

1. 「達人Cube」にログインし、[アップデート]をクリックします。



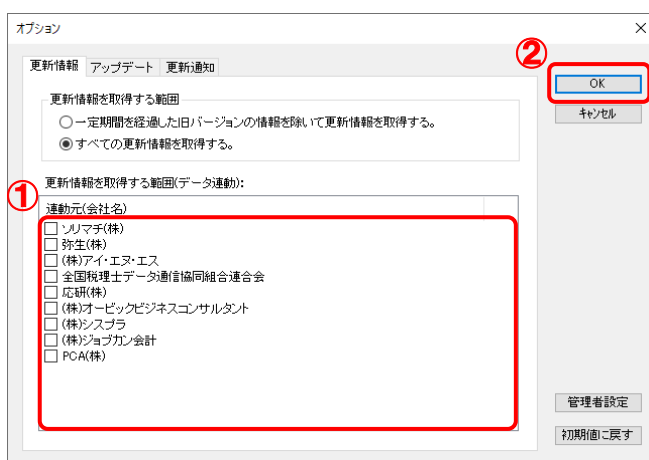
[アップデート] 画面が表示されます。

2. ユーティリティ[オプション]をクリックします。



[オプション] 画面が表示されます。

3. [更新情報]タブ-[更新情報を取得する範囲(データ連動)]において該当の[連動元(会社名)]をクリックしてチェックを付け(①)、[OK]ボタンをクリックします(②)。



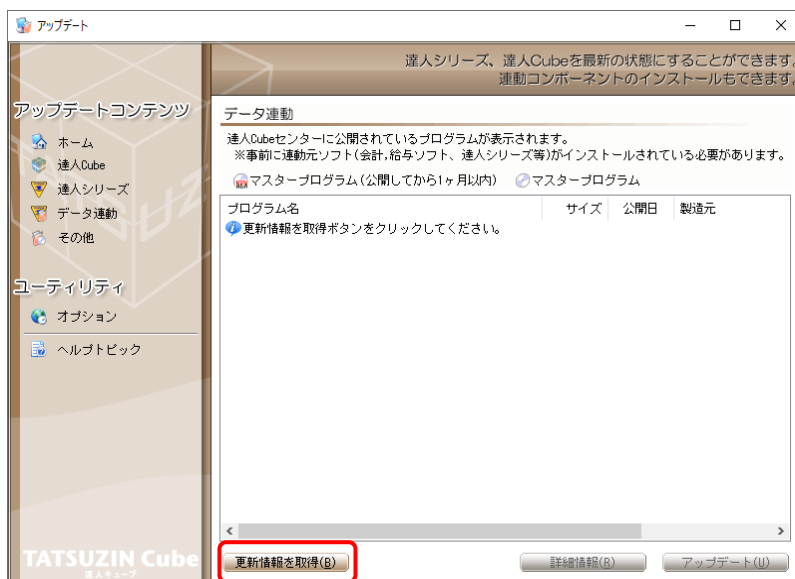
[アップデート] 画面に戻ります。

4. アップデートコンテンツ[データ連動]をクリックします。



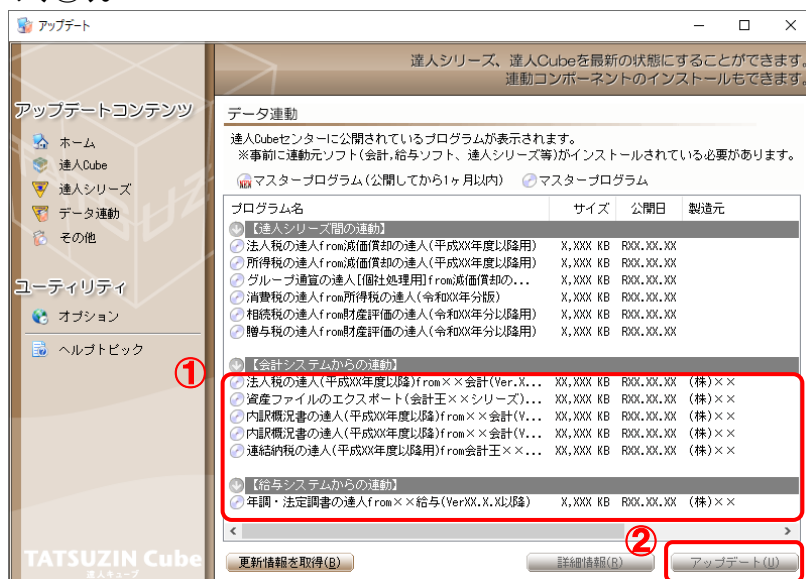
[データ連動] 画面が表示されます。

5. [更新情報を取得]ボタンをクリックします。



連動コンポーネントが表示されます。

6. 該当の連動コンポーネントをクリックして選択し(①)、[アップデート]ボタンをクリックします(②)。



[ユーザーアカウント制御] 画面が表示されます。

7. [はい]ボタンをクリックします。

[InstallShield Wizard] 画面が表示されます。

8. [次へ]ボタンをクリックします。

[設定内容の確認] 画面が表示されます。

9. インストール先のフォルダを確認し、[インストール]ボタンをクリックします。

インストールが開始されます。

10. 完了画面が表示されたら、[完了]ボタンをクリックします。

以上で、「連結納税の達人(平成25年度以降用) from会計王22シリーズ」のインストールは完了です。

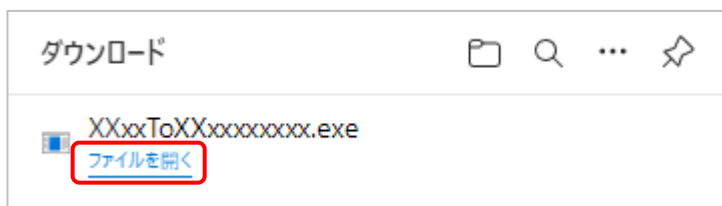
2.「達人」公式サイトからファイルをダウンロードする場合

1. 「達人」公式サイトでの連動会計・給与ソフトの連動コンポーネントダウンロードページ (https://www.tatsuzin.info/rendousoft/rendou_download.html)を開きます。



2. 該当の「達人シリーズ」のソフト名をクリックします。
該当の連動会計・給与ソフトメーカー一覧画面が表示されます。
3. 該当の連動会計・給与ソフトメーカーの[ダウンロード]をクリックします。
該当の連動会計・給与ソフトメーカーの最新の連動コンポーネント一覧画面が表示されます。
4. 該当の連動コンポーネントの[連動コンポーネントをダウンロードする]ボタンをクリックします。
画面の右上に [ダウンロード] 画面が表示されます。

5. [ファイルを開く]をクリックします。



[ユーザーアカウント制御] 画面が表示されます。

6. [はい]ボタンをクリックします。

[InstallShield Wizard] 画面が表示されます。

7. [次へ]ボタンをクリックします。

[設定内容の確認] 画面が表示されます。

8. インストール先のフォルダを確認し、[インストール]ボタンをクリックします。

インストールが開始されます。

9. 完了画面が表示されたら、[完了]ボタンをクリックします。

以上で、「連結納税の達人（平成25年度以降用）from会計王22シリーズ」のインストールは完了です。

4.運用方法

「連結納税の達人（平成25年度以降用）from会計王22シリーズ」は、「会計王」のデータから中間ファイルを作成します。

データ取り込みの操作方法は、「会計王」と「連結納税の達人〔個社処理用〕」を同一コンピュータにインストールしているかどうかで異なります。

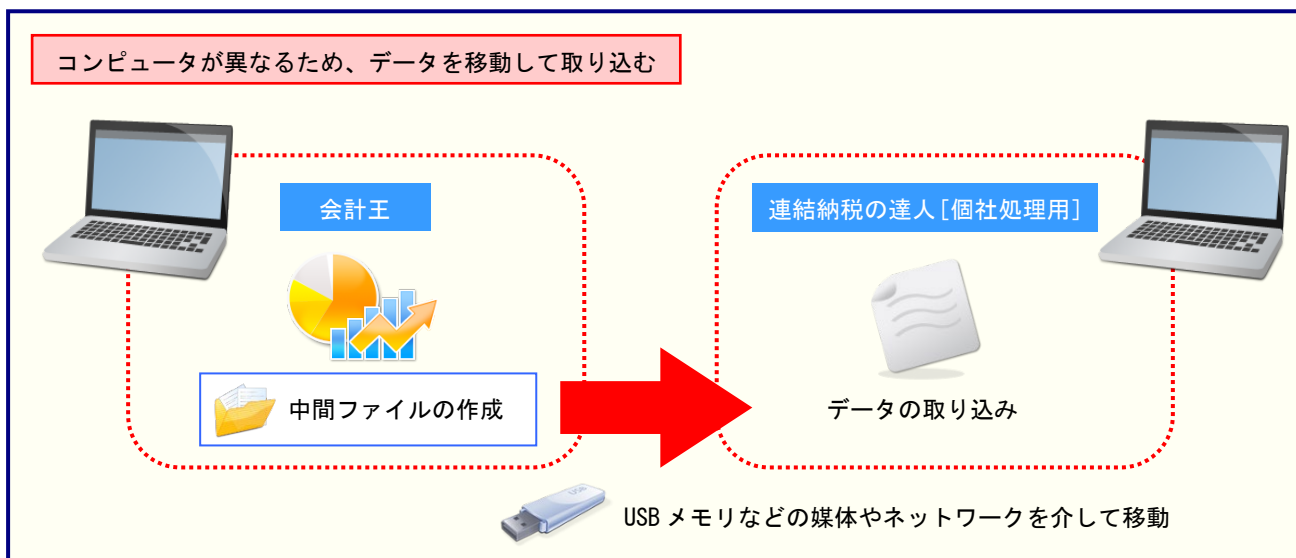
1.「会計王」と「連結納税の達人〔個社処理用〕」を同一コンピュータにインストールしている場合

「連結納税の達人（平成25年度以降用）from会計王22シリーズ」で作成した中間ファイルを直接「連結納税の達人〔個社処理用〕」に取り込みます。



2.「会計王」と「連結納税の達人[個社処理用]」を別のコンピュータにインストールしている場合

「会計王」をインストールしているコンピュータで中間ファイルを作成し、「連結納税の達人[個社処理用]」をインストールしているコンピュータで取り込みます。



5.操作方法

「連結納税の達人(平成25年度以降用)from会計王22シリーズ」を使って、以下の手順で連動します。事前に「6.連動対象項目」(P.27)を必ずお読みください。

操作手順は、「会計王」と「連結納税の達人[個社処理用]」を同一コンピュータにインストールしているかどうかで異なります。

「連結納税の達人(平成25年度以降用)from会計王22シリーズ」を使用する前に

「連結納税の達人(平成25年度以降用)from会計王22シリーズ」を使用する前に以下の手順で、「会計王」に達人用のユーザーを登録し、「会計王」が起動中でも連動できる設定をしてください。この手順は、「会計王」と「連結納税の達人[個社処理用]」を同一コンピュータにインストールしているかどうかにかかわらず、共通の手順となります。



注意

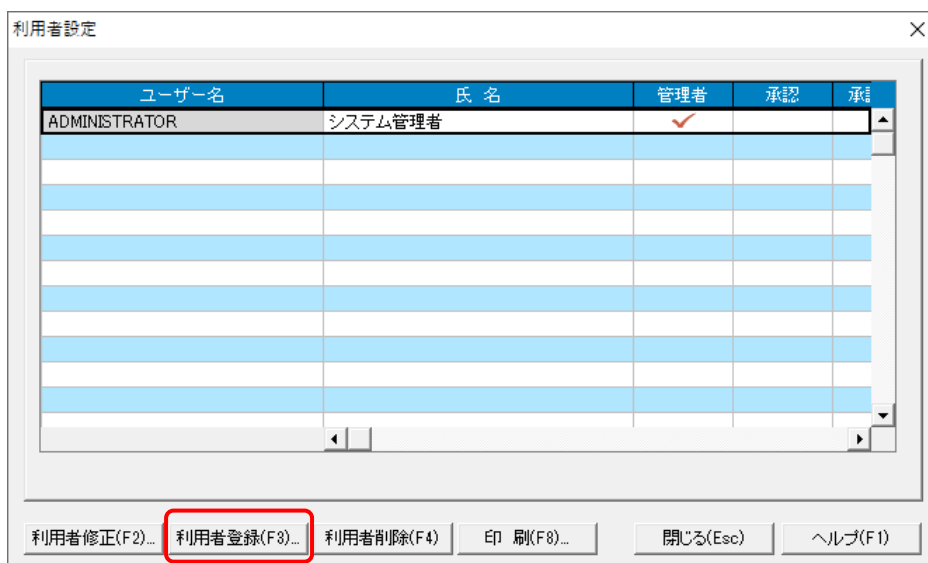
達人用のユーザーを登録しないと「連結納税の達人(平成25年度以降用)from会計王22シリーズ」を使用できません。

1. 「会計王」を起動し、メニュー[ファイル]ー[利用者設定]をクリックします。



[利用者設定] 画面が表示されます。

2. [利用者登録]ボタンをクリックします。



[利用者登録] 画面が表示されます。

3. 「連結納税の達人(平成25年度以降用)from会計王22シリーズ」用のユーザー情報を入力し(①)、[登録]ボタンをクリックします(②)。

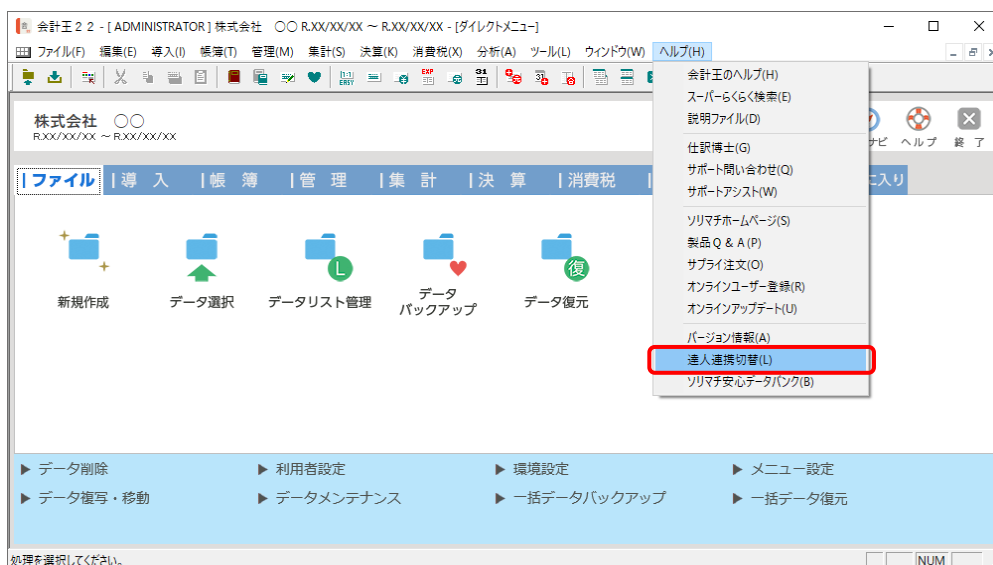
[利用者設定] 画面に戻るので、[閉じる] ボタンをクリックします。

※ ユーザー名の先頭を“TATSUZIN”とすることで、達人用のユーザーとして認識されます。

※ ユーザー名以外の入力は任意となりますが、確認しやすい情報を入力しておくとう便利です。

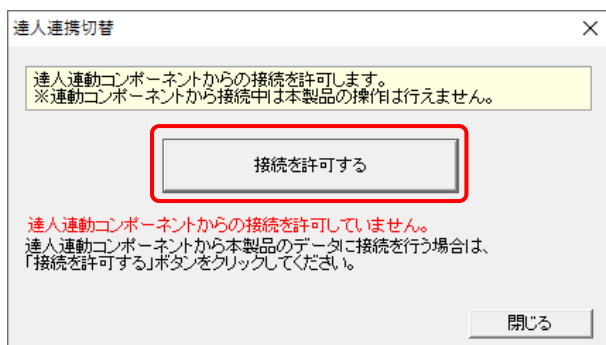
※ 「会計王」の起動中に連動をしない場合、手順4以降は行いません。

4. メニューバー[ヘルプ]ー[達人連携切替]をクリックします。



「達人連携切替」画面が表示されます。

5. [接続を許可する]ボタンをクリックします。



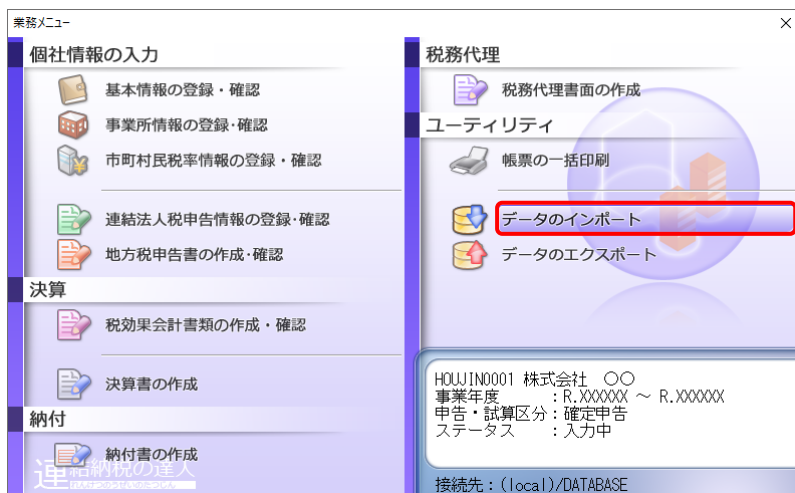
達人連動コンポーネントからの接続が許可され、「会計王」が起動中でも連動できるようになります。

※ 接続を解除する場合は「接続許可を解除する」ボタンをクリックし、解除してください。

以上で、「連結納税の達人（平成25年度以降用）from会計王22シリーズ」を使用する前の準備は完了です。

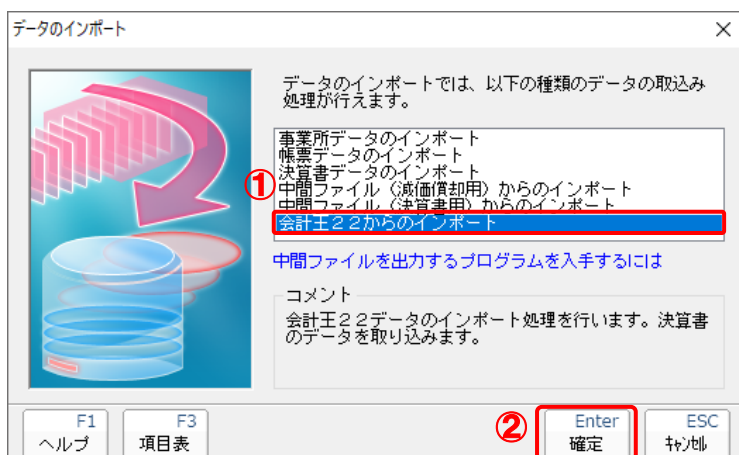
1. 「会計王」と「連結納税の達人[個社処理用]」を同一コンピュータにインストールしている場合

1. 「連結納税の達人[個社処理用]」を起動してデータを取り込む顧問先データを選択し、業務メニュー[データのインポート]をクリックします。



[データのインポート] 画面が表示されます。

2. [会計王22からのインポート]をクリックして選択し(①)、[確定]ボタンをクリックします(②)。



[会計王22 - ログイン] 画面が表示されます。

※ 「会計王22PRO」を利用している場合は [会計王22PROからのインポート] をクリックして選択し、[確定] ボタンをクリックします。

3. 「会計王」側で登録した[ユーザー名]及び[パスワード]を入力し(①)、[ログイン]ボタンをクリックします(②)。




[データ選択] 画面が表示されます。

※ [ユーザー名] には既に“TATSUZIN” が設定されていますので、後に続く文字を入力します。

※ 次回以降、[ユーザー名] と [パスワード] を自動で入力するには、[ログイン情報を保存する] をクリックしてチェックを付けます。

4. 「連結納税の達人[個社処理用]」に取り込む「会計王」のデータをクリックして選択し(①)、[選択]ボタンをクリックします(②)。



事業所名	決算期	期首日	備考
0001-0000 株式会社 ○○			
株式会社 ○○	1	XXXX/XX/XX~	株式会社 ○○ 令和XX年 ...
0002-0000 ○○ 太郎			

[決算書 - 集計条件] 画面が表示されます。

5. 集計条件を設定し(①)、[実行]ボタンをクリックします(②)。

決算書 - 集計条件 ①

事業所名 : 株式会社 ○○

会計期間 : XXXX/XX/XX~XXXX/XX/XX

集計期間 : 月度(S) ~ 月度(E)

株主/社員資本等変動計算書の選択

株主資本等変動計算書の情報を出力する(K)

社員資本等変動計算書の情報を出力する(M)

総勘定元帳の情報を出力する(N)

出力先

C:\Users\tatsuzin\AppData\Local\Temp\TzTemp\XXXXXXXXXXXXXXX

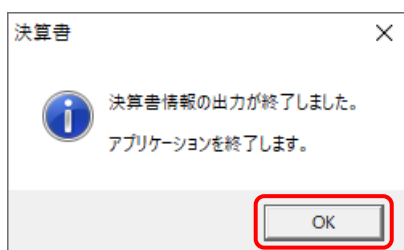
参照(D)...

② 実行(F12) キャンセル(Esc)

終了画面が表示されます。

※「会計王」では「社員資本等変動計算書」の作成はできませんが、ラジオボタンの選択により「社員資本等変動計算書」としてインポート可能です。

6. [OK]ボタンをクリックします。



[インポート対象設定] 画面が表示されます。

7. インポートの対象を設定し(①)、[実行]ボタンをクリックします(②)。

インポート対象設定

帳票名	項目名
<input checked="" type="checkbox"/>	決算書
<input checked="" type="checkbox"/>	貸借対照表
<input checked="" type="checkbox"/>	損益計算書
<input checked="" type="checkbox"/>	製造原価報告書
<input checked="" type="checkbox"/>	株主資本等変動計算書
<input checked="" type="checkbox"/>	個別注記表

■決算書の設定

業種ボタン設定
業種 一般商工業

貸借対照表の個別表示ボタン設定

1. 流動資産 貸借引当金 一括控除	3. 投資その他の資産 貸借引当金 一括控除
2. 有形固定資産 減価償却累計額 一括控除	減価償却累計額 一括控除
減損損失累計額 一括控除	減損損失累計額 一括控除
減価償却累計額及び減損損失累計額 科目別控除	減価償却累計額及び減損損失累計額 科目別控除

損益計算書の個別表示ボタン設定

1. 売上高 科目別掲記	3. 販売費及び一般管理費 費目別掲記
2. 売上原価 期首商品たな卸高、当期商品仕入高、期末商品備卸高の区分掲記	

F1 ヘルプ F9 初期値 F11 全選択

Enter 実行 ESC キャンセル

インポートの確認メッセージが表示されます。

8. [OK]ボタンをクリックします。

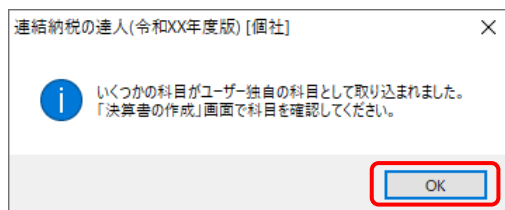
連結納税の達人(令和XX年度版) [個社] X

インポート処理を開始します。
よろしいですか?

OK キャンセル

取込の確認メッセージが表示されます。

9. [OK]ボタンをクリックします。



[業務メニュー] 画面に戻ります。データの作成(中間ファイルの作成)が終了すると同時に、「連結納税の達人 [個社処理用]」にデータが取り込まれます。

以上で、データの取り込みは完了です。



連動後には、「連結納税の達人 [個社処理用]」側で科目の取込設定を行う必要があります。
操作手順については『[連結納税の達人 \[個社処理用\] 運用ガイド](#)』—「付録」—「決算書を作成する」—「科目の取り込み設定を行う」をご確認ください。

2.「会計王」と「連結納税の達人[個社処理用]」を別のコンピュータにインストールしている場合

1. Windowsのスタートメニュー[達人シリーズ]—[連結納税の達人(平成25年度以降用)from会計王22シリーズ]をクリックします。

[会計王22 — ログイン] 画面が表示されます。

※ Windows 11の場合は、Windowsのスタートメニュー [すべてのアプリ] をクリックして表示される [すべてのアプリ] 画面で、[達人シリーズ] — [連結納税の達人(平成25年度以降用)from会計王22シリーズ] をクリックします。

2. 「会計王」側で登録した[ユーザー名]及び[パスワード]を入力し(①)、[ログイン]ボタンをクリックします(②)。

[データ選択] 画面が表示されます。

※ [ユーザー名] には既に“TATSUZIN”が設定されていますので、後に続く文字を入力します。

※ 次回以降、[ユーザー名] と [パスワード] を自動で入力するには、[ログイン情報を保存する] をクリックしてチェックを付けます。

3. 「連結納税の達人[個社処理用]」に取り込む「会計王」のデータをクリックして選択し(①)、[選択]ボタンをクリックします(②)。

事業所名	決算期	期首日	備考
0001-0000 株式会社 ○○			
株式会社 ○○		XXXX/XX/XX~	株式会社 ○○ 令和XX年 ...
0002-0000 ○○ 太郎			

[決算書 — 集計条件] 画面が表示されます。

4. 集計条件を設定し(①)、[参照]ボタンをクリックします(②)。

決算書 - 集計条件

① 事業所名 : 株式会社 ○○
 会計期間 : XXXX/XX/XX~XXXX/XX/XX
 集計期間 : 月度(S) ~ 月度(E)
 株主/社員資本 : 株主資本等変動計算書の情報を出力する(K)
 等変動計算書の 社員資本等変動計算書の情報を出力する(M)
 選択

出力先(O) ②
 |C:\Users\tatsuzin\Documents*.xml

参照(D)...

実行(F12) キャンセル(Esc)

[保存ファイルを指定] 画面が表示されます。

※ 「会計王」では「社員資本等変動計算書」の作成はできませんが、ラジオボタンの選択により「社員資本等変動計算書」としてインポート可能です。

5. [保存する場所](①)と[ファイル名]を指定し(②)、[保存]ボタンをクリックします(③)。

保存ファイルを指定 ①

保存する場所(O): デスクトップ

OneDrive tatsuzin PC ライブラリ

② ③
 ファイル名(N): 株式会社 ○○ 保存(S)
 ファイルの種類(T): Xml Files (*.xml) キャンセル

[決算書 - 集計条件] 画面に戻ります。

※ 出力先のファイル拡張子にはxmlを指定してください。

6. [実行]ボタンをクリックします。

決算書 - 集計条件

事業所名 : 株式会社 〇〇

会計期間 : XXXX/XX/XX~XXXX/XX/XX

集計期間 : 03 月度(S) ~ 03 月度(E)

株主/社員資本 : 株主資本等変動計算書の情報を出力する(K)
等変動計算書の 社員資本等変動計算書の情報を出力する(M)
選択

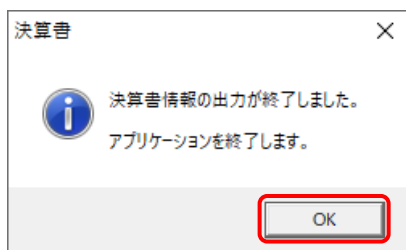
出力先(O) : C:\Users\tatsuzin\Desktop\株式会社 〇〇.xml

参照(D)...

実行(F12) キャンセル(Esc)

終了画面が表示されます。

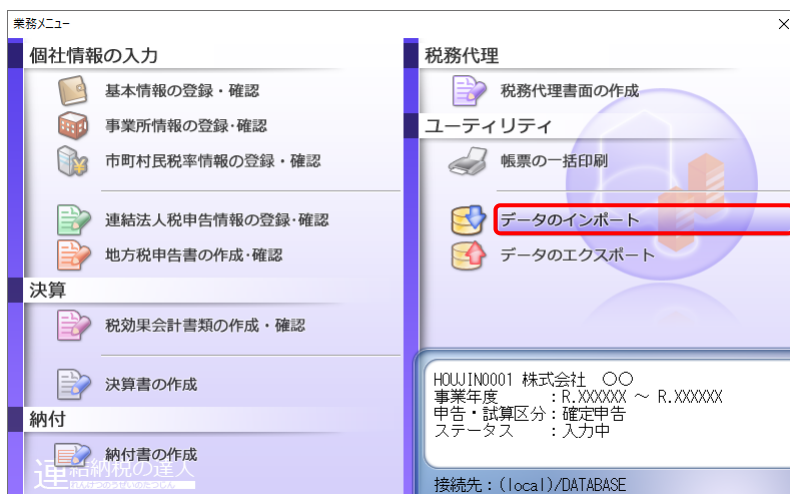
7. [OK]ボタンをクリックします。



手順5で指定した出力先に、中間ファイルが作成されます。

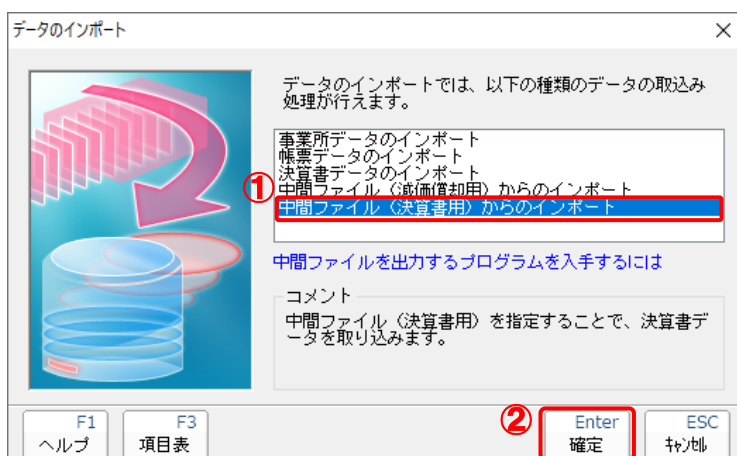
8. 作成された中間ファイルを、USBメモリなどの媒体やネットワークを介して「連結納税の達人[個社処理用]」をインストールしているコンピュータに移動します。

9. 「連結納税の達人[個社処理用]」を起動して中間ファイルを取り込む顧問先データを選択し、業務メニュー[データのインポート]をクリックします。



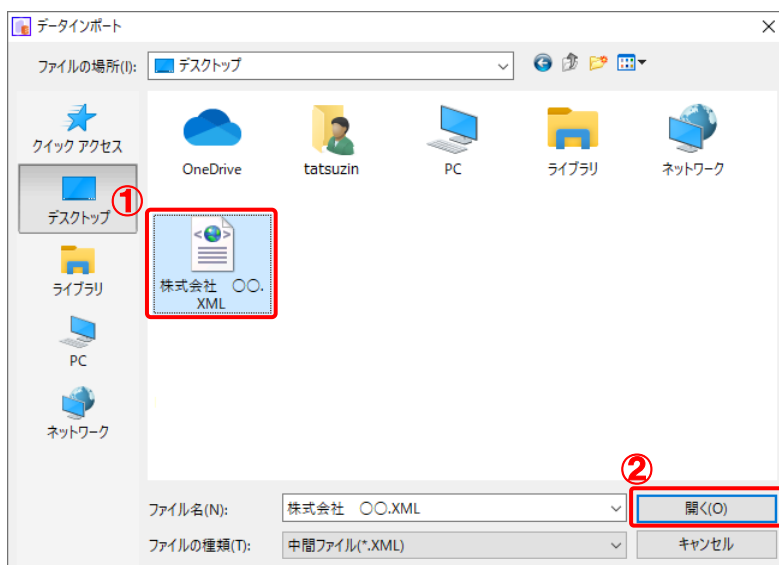
[データのインポート] 画面が表示されます。

10. [中間ファイル(決算書用)からのインポート]をクリックして選択し(①)、[確定]ボタンをクリックします(②)。



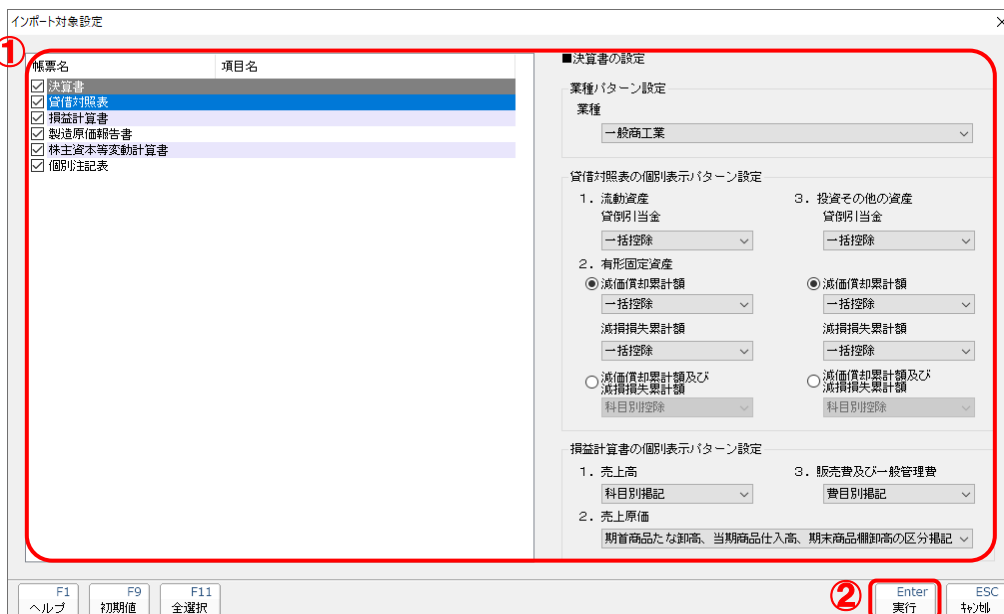
[データインポート] 画面が表示されます。

11. 作成した中間ファイルをクリックして選択し(①)、[開く]ボタンをクリックします(②)。



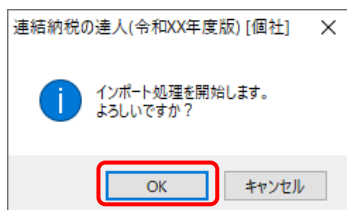
[インポート対象設定] 画面が表示されます。

12. インポートの対象を設定し(①)、[実行]ボタンをクリックします(②)。



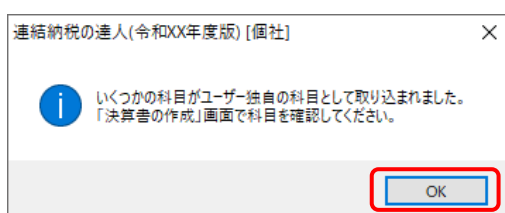
インポートの確認メッセージが表示されます。

13. [OK]ボタンをクリックします。



取込の確認メッセージが表示されます。

14. [OK]ボタンをクリックします。



[業務メニュー] 画面に戻ります。

以上で、データの取り込みは完了です。



注意

連動後には、「連結納税の達人 [個社処理用]」側で科目の取込設定を行う必要があります。
操作手順については『[連結納税の達人 \[個社処理用\] 運用ガイド](#)』－「付録」－「決算書を作成する」－「科目の取り込み設定を行う」をご確認ください。

6.連動対象項目

「連結納税の達人（平成25年度以降用）from会計王22シリーズ」では、「会計王」の決算書よりデータを取り込みます。

「会計王」から連動するデータ(連動元)

「会計王」からはメニュー [決算] - [決算書] の決算書データが連動します。

The screenshot shows the '会計王22' software interface. The '決算' (Financial Statements) menu is highlighted with a red box. A red arrow points from this menu to a '貸借対照表' (Balance Sheet) report. The report is titled '貸借対照表' and includes a subtitle '(単位:円)'. It shows a detailed breakdown of assets and liabilities for a company.

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
【流動資産】		【流動負債】	
現金・預金		支払 手形	10,168,739
現 金	20,053,524	買 掛 金	7,836,144
当座 預金	10,628,204	未 払 金	5,500,000
普通 預金	34,469,764	前 受 金	1,000,000
定期 預金	41,926,668	短期借入金	300,000
定期 積金	10,000,000	割引 手形	700,000
現金・預金 計	117,078,160	賞与引当金	4,280,200
(売上債権)		未払法人税等	13,621,096
受取 手形	3,462,228	未払消費税等	3,576,185
売 掛 金	14,071,602	流動負債 計	46,982,364
貸倒引当金	△1,376,189	【固定負債】	
売上債権 計	16,157,641	長期借入金	50,800,000
(有価証券)		長期預り金	10,000,000
有価 証券	167,622	固定負債 計	60,800,000
有価証券 計	167,622	負債の部合計	107,782,364
(補卸資産)		純 資 産 の 部	
商 品	3,049,064	【株主資本】	
貯 蔵 品	206,966	資 本 金	30,000,000
棚卸資産 計	3,256,020	(資本剰余金)	
(その他流動資産)		資本準備金	7,000,000
前払 費用	575,914	その他資本剰余金	7,000,000
未収 収益	370,100	資本剰余金 計	14,000,000
立 替 金	200,000	(利益剰余金)	
その他流動資産 計	1,146,014	利益準備金	75,500,000
流動資産合計	137,804,457	[その他利益剰余金]	
【固定資産】		任意積立金	33,000,000
(有形固定資産)		別途積立金	30,000,000
建 物	92,400,000	圧縮積立金	21,013,675
機械及び装置	11,000,000	繰越利益剰余金	0
車両運搬具	2,000,000	利益剰余金 計	159,513,675
減価償却累計額	△39,508,418	株主資本 計	203,513,675
土 地	86,500,000	純資産の部合計	203,513,675
有形固定資産 計	152,391,582		
(無形固定資産)			
電話加入権	1,200,000		
無形固定資産 計	1,200,000		
(投資その他の資産)			
出 資 金	10,000,000		
敷 金	3,900,000		
投資その他の資産 計	13,900,000		
固定資産合計	167,491,582		
【繰延資産】			
繰延 資産	6,000,000		
繰延資産 計	6,000,000		
資産の部合計	311,296,039	負債・純資産の部合計	311,296,039

「連結納税の達人[個社処理用]」に連動するデータ(連動先)

「連結納税の達人 [個社処理用]」に連動するデータは以下のとおりです。次ページ以降の各画面の太枠部分が連動対象項目です。

決算書

貸借対照表
 損益計算書
 製造原価報告書
 株主資本等変動計算書
 社員資本等変動計算書
 個別注記表



注意

設定について：

「連結納税の達人 [個社処理用]」にデータが取り込まれた直後、可能な限り自動的に設定が行われます。データを取り込んだのち、「連結納税の達人 [個社処理用]」の「取込設定」画面にて設定を確認してください。

取込設定 (貸借対照表)

インポートされた項目を連結納税の達人で使用される科目に設定します。
 設定例に<F11 取込実行>キーを押下すると入力内容が決算書に反映されます。
 連結納税の達人で使用される科目が未設定の場合はインポートされた項目は決算書に反映されません。該当項目で<Enter 選択>キー押下により科目の選択を行ってください。

インポートされた項目	金額	連結納税の達人で使用される科目
流動資産		流動資産
現金及び預金	40,000,000	現金及び預金
売掛金	87,000,000	売掛金
たな卸資産	45,000,000	たな卸資産
製品	45,000,000	製品
未収収益	25,000,000	未収収益
流動資産に属する資産に係...		流動資産に属する資産に係る...
貸倒引当金	-2,000,000	貸倒引当金
その他	23,821,053	その他
固定資産		固定資産
有形固定資産		有形固定資産
建物及び構築物、照明、通風...		建物及び構築物、照明、通風等...
建物 (純額)	70,000,000	建物 (純額)
機械及び装置並びにコンベ...		機械及び装置並びにコンベ...
機械及び装置 (純額)	50,000,000	機械及び装置 (純額)
機械及び装置	65,000,000	機械及び装置
減価償却累計額	-15,000,000	減価償却累計額
鉄道車両、自動車その他の陸...		鉄道車両、自動車その他の陸...
車両運搬具 (純額)	4,000,000	車両運搬具 (純額)
車両運搬具	6,000,000	車両運搬具

ヘルプ (F1)
 閉じる (F2)
 全消去 (F7)
 印刷 (F9)
 取込実行 (F11)
 Enter 選択

個別注記表について：

「会計王」のメニュー [決算] - [決算書] - [決算書作成] 画面の [印刷する注記事項を選んでください。] 画面にて、[注記入力方法] - [注記表を「法人税の達人」へ連動可能な形式で入力する] をクリックしてチェックを付けると連動可能となります。

株主資本等変動計算書について：

「会計王」で入力した変動事由の入力内容は連携しません。

データを取り込んだのち、「連結納税の達人 [個社処理用]」の「株主資本等変動計算書」にて該当する個所に入力してください。

集計条件について：

「会計王」で設定した決算書作成における集計条件は連携しません。

社員資本等変動計算書について：

「会計王」では「社員資本等変動計算書」の作成はできませんが、連動コンポーネントのラジオボタンの選択により「社員資本等変動計算書」としてインポート可能です。

修正の必要のある勘定科目について：

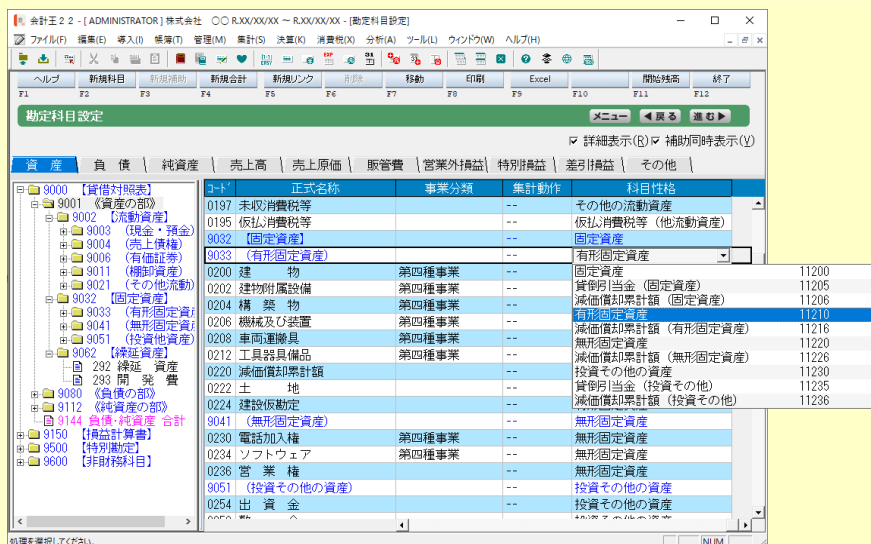
「会計王」にて、以下の科目性格を設定した勘定科目の期首残高や仕訳が入力してある場合、正しい分類に出力することができません。

『【固定資産】』

『貸倒引当金 (固定資産)』

『減価償却累計額 (固定資産)』

「会計王」の勘定科目設定画面にて、科目性格を [有形固定資産] [無形固定資産] [投資その他の資産] のいずれかに設定してから出力処理を行ってください。



貸借対照表

決算書の作成

貸借対照表 損益計算書 製造原価報告書 株主資本等変動計算書 個別注記表

検索

科目	金額	加算減算
資産の部		
流動資産		
現金及び預金		
受取手形及び売掛金 (純額)		
受取手形及び売掛金		
貸倒引当金		
受取手形 (純額)		
受取手形		
貸倒引当金		
売掛金 (純額)		
売掛金		
貸倒引当金		
割賦売掛金		
売買目的有価証券及び1年以内に満期の到来する有価証券		
有価証券		
親会社株式		
金銭の信託		
営業投資有価証券		
たな卸資産		
商品		
製品、副産物及び作業くず		
製品		
商品及び製品		

: ユーザーが独自に追加した科目
 金額又は値がない法令及び規則に記載のない科目を表示しない
 金額又は値がない科目を表示しない
 ユーザーが独自に追加した科目のみを表示する

F1 ヘルプ
 F2 閉じる
 F3 検索
 F4 利益処分
 F5 企業情報
 F6 科目追加
 F7 科目削除
 F8 科目変更
 F9 印刷
 F11 取込設定
 F12 漢字
 Enter 選択

損益計算書

決算書の作成

貸借対照表 損益計算書 製造原価報告書 株主資本等変動計算書 個別注記表

検索

科目	金額	加算減算
営業活動による収益		
売上高		
売上高		
営業活動による費用・売上原価		
営業活動による費用・売上原価の内訳		
商品売上原価		
商品期首たな卸高		
当期商品仕入高		
商品期末たな卸高		
合計		
商品売上原価		
不動産売上原価		
不動産賃貸原価		
金融費用		
金融費用		
販売費及び一般管理費		
販売手数料		
荷造費		
運搬費		
広告宣伝費		
見本費		
保管費		
納入試験費		

: ユーザーが独自に追加した科目
 金額又は値がない法令及び規則に記載のない科目を表示しない
 金額又は値がない科目を表示しない
 ユーザーが独自に追加した科目のみを表示する

F1 ヘルプ
 F2 閉じる
 F3 検索
 F4 利益処分
 F5 企業情報
 F6 科目追加
 F7 科目削除
 F8 科目変更
 F9 印刷
 F11 取込設定
 F12 漢字
 Enter 選択

製造原価報告書

決算書の作成

貸借対照表 損益計算書 **製造原価報告書** 株主資本等変動計算書 個別注記表

検索

科目	金額	加算減算
仕入原価		
期首たな卸高		
商品仕入高		
仕入値引・戻し高		
合計		
期末たな卸高		
材料費		
期首原材料たな卸高		
当期原材料仕入高		
非課税原材料仕入		
薬品仕入高		
診療材料仕入高		
給食材料仕入高		
医療消耗備品仕入高		
原材料仕入値引戻し高		
原材料割戻し高		
その他の原材料仕入高		
合計		
期末原材料たな卸高		
主要材料費		
補助材料費		
労務費		
建設学費		

: ユーザーが独自に追加した科目
 金額又は値がない法令及び規則に記載のない科目を表示しない
 金額又は値がない科目を表示しない
 ユーザーが独自に追加した科目のみを表示する

F1 ヘルプ
 F2 閉じる
 F3 検索
 F4 利益処分
 F5 企業情報
 F6 科目追加
 F7 科目削除
 F8 科目変更
 F9 印刷
 F11 取込設定
 F12 漢字
 Enter 選択

株主資本等変動計算書等

株主資本等変動計算書

決算書の作成

貸借対照表 損益計算書 製造原価報告書 株主資本等変動計算書 個別注記表

検索

科目	金額
株主資本	
資本金	
当期首残高	
当期変動額	
新株の発行	
当期変動額合計	
当期末残高	
資本剰余金	
資本準備金	
当期首残高	
当期変動額	
新株の発行	
当期変動額合計	
当期末残高	
その他資本剰余金	
当期首残高	
当期変動額	
剰余金(その他資本剰余金)の配当	
自己株式の処分	
自己株式の消却	
当期変動額合計	
当期末残高	
資本剰余金合計	

: ユーザーが独自に追加した科目
 金額又は値がない法令及び規則に記載のない科目を表示しない
 金額又は値がない科目を表示しない
 ユーザーが独自に追加した科目のみを表示する

F1 ヘルプ
 F2 閉じる
 F3 検索
 F4 利益処分
 F5 企業情報
 F6 科目追加
 F7 科目削除
 F8 科目変更
 F9 印刷
 F11 取込設定
 F12 漢字
 Enter 選択

社員資本等変動計算書

決算書の作成

貸借対照表 損益計算書 製造原価報告書 社員資本等変動計算書 個別注記表

検索

科目	金額
社員資本	
資本金	
当期首残高	
当期変動額	
新株の発行	
当期変動額合計	
当期末残高	
資本剰余金	
資本準備金	
当期首残高	
当期変動額	
新株の発行	
当期変動額合計	
当期末残高	
その他資本剰余金	
当期首残高	
当期変動額	
剰余金(その他資本剰余金)の配当	
当期変動額合計	
当期末残高	
資本剰余金合計	
当期首残高	
当期変動額	

: ユーザーが独自に追加した科目
 金額又は値がない法令及び規則に記載のない科目を表示しない
 金額又は値がない科目を表示しない
 ユーザーが独自に追加した科目のみを表示する

F1 ヘルプ
 F2 閉じる
 F3 検索
 F4 利益処分
 F5 企業情報
 F6 科目追加
 F7 科目削除
 F8 科目変更
 F9 印刷
 F11 取込設定
 F12 漢字
 Enter 選択

個別注記表

決算書の作成

貸借対照表 損益計算書 製造原価報告書 株主資本等変動計算書 個別注記表

検索

注記事項	設定内容
継続企業の前提に関する注記	
重要な会計方針に係る事項に関する注記	
資産の評価基準及び評価方法	
有価証券の評価基準及び評価方法	
たな卸資産の評価基準及び評価方法	
固定資産の減価償却の方法	
引当金の計上基準	
収益及び費用の計上基準	
その他計算書類の作成のための基本となる重要な事項	
金利の取得原価算入	
その他	
項目名	
内容	
会計処理の原則又は手続の変更	
表示方法の変更	
貸借対照表に関する注記	
担保資産及び担保付債務	
資産の部から直接控除した貸倒引当金	
流動資産	
投資その他の資産	
有形固定資産の減価償却累計額	
保証債務額	
受取手形割引高	

: ユーザーが独自に追加した科目
 金額又は値がない法令及び規則に記載のない科目を表示しない
 金額又は値がない科目を表示しない
 ユーザーが独自に追加した科目のみを表示する

F1 ヘルプ
 F2 閉じる
 F3 検索
 F4 利益処分
 F5 企業情報
 F6 科目追加
 F7 科目削除
 F8 科目変更
 F9 印刷
 F11 取込設定
 F12 漢字
 Enter 選択

7.アンインストール方法

「連結納税の達人（平成25年度以降用）from会計王22シリーズ」をコンピュータからアンインストールするには、以下の手順で行います。



注意

アンインストール作業中に [ユーザーアカウント制御] 画面が表示されることがあります。その場合は [はい] ボタンをクリックして作業を進めてください（必要に応じてパスワードを入力します）。

- 1. Windowsのスタートメニュー[Windowsシステムツール]—[コントロールパネル]をクリックします。**

[コントロールパネル] 画面が表示されます。
※ Windows 11の場合は、Windowsのスタートメニュー [すべてのアプリ] をクリックして表示される [すべてのアプリ] 画面で、[Windowsツール] — [コントロールパネル] をクリックします。
- 2. [プログラムのアンインストール]をクリックします。**

[プログラムのアンインストールまたは変更] 画面が表示されます。
※ [コントロールパネル] 画面をアイコン表示にしている場合は、[プログラムと機能] をクリックします。
- 3. [連結納税の達人(平成25年度以降用)from会計王22シリーズ]をクリックして選択し、[アンインストールと変更]をクリックします。**

[プログラムの保守] 画面が表示されます。
- 4. [削除]を選択した状態で[次へ]ボタンをクリックします。**

確認画面が表示されます。
- 5. [OK]ボタンをクリックします。**

アンインストールが開始されます。
- 6. 完了画面が表示されたら、[完了]ボタンをクリックします。**

以上で、「連結納税の達人（平成25年度以降用）from会計王22シリーズ」のアンインストールは完了です。

8.著作権・免責等に関する注意事項

- ・ 「連結納税の達人(平成25年度以降用)from会計王22シリーズ」のソフトウェア製品全体の著作権、工業所有権の一切の知的財産権はソリマチ株式会社に帰属するものとします。
- ・ 「連結納税の達人(平成25年度以降用)from会計王22シリーズ」の複製物(バックアップ・コピー)は、不慮の事故に備えて1部のみ作成することができます。
- ・ 「連結納税の達人(平成25年度以降用)from会計王22シリーズ」を使用した結果の損害及び影響について、原因のいかんを問わず、弊社及びソリマチ株式会社は一切の賠償の責任を負いません。
- ・ 「連結納税の達人(平成25年度以降用)from会計王22シリーズ」のプログラム及びドキュメント等の一部または全部をどのような場合でもその形態を問わず無断で解析・改造・配布等を行うことはできません。
- ・ 「連結納税の達人(平成25年度以降用)from会計王22シリーズ」のソフトウェア製品仕様は、事前の通知なしに変更することがあります。

**連結納税の達人(平成25年度以降用)from会計王22シリーズ
運用ガイド**

2023年2月18日初版
